

新学期が始まって1カ月が経ちました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。しかし、体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。規則正しい生活をして、元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう♪

溶連菌感染症

A群β溶連鎖球菌という細菌によって起こる感染症です。

潜伏期間

約2～5日

※抗生剤を服用すれば、24時間以内に
ほとんど感染力はなくなります

症状

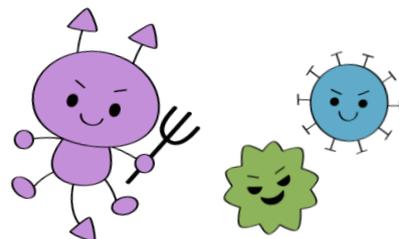
- ・発熱
- ・のどの痛み、腫れ
- ・全身にかゆみを伴う発疹
- ・莓舌（舌の表面に赤いブツブツができること）



治療

抗生剤の投与

※処方された抗生剤は必ず飲み切りましょう



よくなったからといって薬の服用をやめてしまうと、再発し急性腎炎・リウマチ熱・血管性紫斑病・中耳炎・気管支炎などの合併症を引き起こすこともあります。

5月のイヤイヤ期

5月は、4月からの環境の変化などにより、疲れが溜まり、眠れない、起きられない、食欲がない、イライラする、無気力などの症状が見られることがあります。ひどくなると、外出や登園もしたくなくなります。

5月のイヤイヤ期の脱出法は？

- ・のんびりお風呂に入って心と体の疲れを取る
- ・たくさん体を動かして元気よく遊ぶ
- ・睡眠時間をしっかりとる
- ・3食しっかり食べる



爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪（つめ）の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまうこともあるので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友だちを傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に爪切りをお願いいたします。